科目名	キャリア教育(1)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール／ 青本で学校を理解する/	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方　与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/電話の取り方／かけ方　与える印象を理解する	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座　事例検討をする	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	キャリア教育(2)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月30日	講義・演習	週報記載/就職活動　スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月13日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月20日	講義・演習	週報記載/就職活動　プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月4日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月18日	講義・演習	週報記載/プレゼンカを磨く	ワークシート提出
11	1月15日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/2年生の目標設定	ワークシート提出
13	2月5日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	キャリア教育(3)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載/リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	キャリア教育(4)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月30日	講義・演習	週報記載/就職活動　スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月13日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月20日	講義・演習	週報記載/就職活動　プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月4日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月18日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月15日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月5日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール／青本で学校を理解する/	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方　与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/電話の取り方／かけ方　与える印象を理解する	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座　事例検討をする	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	キャリア教育(6)	必修選択	必修	年次	3	担当教員	梅村雄也 関尚太 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月30日	講義・演習	週報記載/就職活動　スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月13日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月20日	講義・演習	週報記載/就職活動　プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月4日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月18日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月15日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月5日	講義・演習	1年間の振り返り	ワークシート提出
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習　時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音響電気知識(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器（スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ）を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作調整などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけ、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ガイダンス・基礎知識	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	4月25日	講義・演習	電源・電流・直流・交流・GNDの違いについて	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	5月9日	講義・演習	ケーブル・コネクタの種類やその役割について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	5月16日	講義・演習	工具や測定器の使用方法について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	5月23日	講義・演習	キャノンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	5月30日	講義・演習	キャノンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	6月6日	講義・演習	6週で学んだ内容についての確認(小テスト)	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	6月13日	講義・演習	抵抗・抵抗の種類や役割、応用等について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	6月20日	講義・演習	コンデンサ・コンデンサの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	7月4日	講義・演習	トランジスタ・オペアンプの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	7月11日	講義・演習	トランスの種類と役割	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	7月18日	講義・演習	音や電気の各電子部品への実際の流れを確認	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	8月22日	講義・演習	5週で学んだ内容についての確認	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

音響調整卓.マルチトッラックレコーダー.工具.デジタルテスター.オシュロスコープ、モニタースピーカー、i-PAD.JAPLSレコーディング技術概論

科目名	音響電気知識(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器（スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ）を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけ、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期で学んだ内容についての確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	10月10日	講義・演習	マイクロフォンの構造と種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	10月17日	講義・演習	マイクロフォンの維持管理について(掃除、保管方法等)	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	10月31日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	11月7日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	11月14日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの維持管理	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	11月21日	講義・演習	6週で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	11月28日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	12月5日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	12月12日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	12月19日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	1月16日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	1月23日	講義・演習	5週で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

音響調整卓.マルチトッラックレコーダー.工具.デジタルテスター.オシュロスコープ、モニタースピーカー、i-PAD.JAPLSレコーディング技術概論

科目名	メタバースウォーキング (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	導入ガイダンス・自己紹介	とりあえずVRChatのアカウント作っておく （次週までに自分で行ってみてもOK）
2	4月25日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
3	5月9日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	5月16日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	5月23日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
6	5月30日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
7	6月6日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	6月13日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
9	6月20日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
10	7月4日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
11	7月11日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
12	7月18日	講義・演習	「Vket2024 Summer」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
13	8月22日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
14	8月29日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	9月12日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	メタバースウォーキング (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、 創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
2	10月10日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
3	10月17日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	10月31日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	11月7日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
6	11月14日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
7	11月21日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	11月28日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
9	12月5日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
10	12月12日	講義・演習	「Vket2024 Winter」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
11	12月19日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
12	1月16日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
13	1月23日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
14	1月30日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	2月13日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イラスト（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	CLIP STUDIOの基本操作、キャラクターを創り出すための基礎技術						
到達目標	CLIP STUDIOの基本操作やツール、レイヤーの使い方を学び、線画の技術を向上させる。色彩の基本を理解し、影とハイライトで立体感を出す技術を習得。ブラシのカスタマイズやテクスチャの追加で質感を向上させ、背景の描き方やパースの基本を学ぶ。キャラクターデザインの基本を習得し、表情やポーズ、服の描き方を学ぶことで、魅力的なキャラクターを創り出すスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ソフトウェアの基本操作とインターフェースの紹介	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
2	5月13日	講義・演習	基本ツールの使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
3	5月20日	講義・演習	レイヤーの基本と使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
4	5月27日	講義・演習	クリーンな線画を描くテクニック	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
5	6月3日	講義・演習	カラーホイールと色の選び方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
6	6月10日	講義・演習	ベースカラーの塗り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
7	6月17日	講義・演習	立体感を出すための影とハイライトの入れ方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
8	6月24日	講義・演習	自分好みのブラシを作る方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
9	7月1日	講義・演習	イラストにテクスチャを加える方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
10	7月8日	講義・演習	シンプルな背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
11	7月15日	講義・演習	パースを使った背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
12	7月22日	講義・演習	キャラクターの基本デザイン	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
13	8月26日	講義・演習	様々な表情の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
14	9月9日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
15	9月16日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
準備学習　時間外学習			授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イラスト(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	CLIP STUDIOの応用操作、アニメーション技術の習得						
到達目標	髪やアクセサリー、動物の描き方を学び、背景の詳細や光と影の応用技術を習得する。色調補正や特殊効果、複雑なテクスチャの使い方を学び、イラストの仕上げ技術を向上させる。簡単なアニメーションの作り方から複雑なアニメーションの技術を習得し、プロジェクトの管理方法を学ぶ。ポートフォリオの作成やフィードバックを受けて修正する技術を身につけ、最終発表で完成した作品を披露する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	動きのあるポーズの描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
2	10月21日	講義・演習	服のシワや質感の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
3	10月28日	講義・演習	髪の流れと質感の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
4	11月4日	講義・演習	小物やアクセサリーの描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
5	11月11日	講義・演習	基本的な動物の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
6	11月18日	講義・演習	複雑な背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
7	11月25日	講義・演習	光源を意識した影の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
8	12月2日	講義・演習	イラスト全体の色調を調整する方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
9	12月9日	講義・演習	光や煙などの特殊効果の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
10	12月16日	講義・演習	複雑なテクスチャの使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
11	1月13日	講義・演習	イラストの最終仕上げ	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
12	1月20日	講義・演習	簡単なアニメーションの作り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
13	2月3日	講義・演習	複雑なアニメーションの作り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
14	2月10日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
15	2月17日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
準備学習　時間外学習			授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マーケティング基礎(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を学ぶ。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリット	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	チャンネルコンセプト（発信内容）の決め方	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	戦略立案（資源量の把握、チーム構成）	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	競合分析	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	企画立案（動画、配信、コラボ）	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プロモーション（SNS）	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	実技テスト：企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	6月24日	講義・演習	競争対応、消費者行動	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	オムニチャネル戦略	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	活動資金調達	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	Google Analytics	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	Google AdSense	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	実技テスト：チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マーケティング基礎(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	濃いファンをつけるためのエンゲージメントマーケティング。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリットの振り返り	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	チャンネルコンセプト（発信内容）決定	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	戦略立案（資源量の把握、チーム構成）	ワークシート
4	11月9日	講義・演習	競合分析	ワークシート
5	11月16日	講義・演習	企画立案（動画、配信、コラボ）	ワークシート
6	11月23日	講義・演習	プロモーション（SNS）	ワークシート
7	11月30日	講義・演習	実技テスト：企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	12月7日	講義・演習	競争対応、消費者行動	ワークシート
9	12月14日	講義・演習	オムニチャネル戦略	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	活動資金調達	ワークシート
11	1月11日	講義・演習	Google Analytics	ワークシート
12	1月18日	講義・演習	Google AdSense	ワークシート
13	1月25日	講義・演習	実技テスト：チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	2月22日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5

科目名	グローバルコミュニケーション(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5

科目名	メタバースウォーキング (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、 創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	導入ガイダンス・自己紹介	とりあえずVRChatのアカウント作っておく （次週までに自分で行ってみてもOK）
2	4月25日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
3	5月9日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	5月16日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	5月23日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
6	5月30日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
7	6月6日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	6月13日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
9	6月20日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
10	7月4日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
11	7月11日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
12	7月18日	講義・演習	「Vket2024 Summer」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
13	8月22日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
14	8月29日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	9月12日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	メタバースウォーキング (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、 創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
2	10月10日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
3	10月17日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	10月31日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	11月7日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
6	11月14日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
7	11月21日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	11月28日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
9	12月5日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
10	12月12日	講義・演習	「Vket2024 Winter」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
11	12月19日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
12	1月16日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
13	1月23日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
14	1月30日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	2月13日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マーケティング基礎(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を学ぶ。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリット(中級)	ワークシート
2	4月21日	講義・演習	チャンネルコンセプト（発信内容）の決め方(中級)	ワークシート
3	5月12日	講義・演習	戦略立案（資源量の把握、チーム構成）(中級)	ワークシート
4	5月19日	講義・演習	競合分析(中級)	ワークシート
5	5月26日	講義・演習	企画立案（動画、配信、コラボ）(中級)	ワークシート
6	6月2日	講義・演習	プロモーション（SNS）(中級)	ワークシート
7	6月9日	講義・演習	実技テスト：企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	6月16日	講義・演習	競争対応、消費者行動(中級)	ワークシート
9	6月23日	講義・演習	オムニチャネル戦略(中級)	ワークシート
10	6月30日	講義・演習	活動資金調達(中級)	ワークシート
11	7月7日	講義・演習	Google Analytics(中級)	ワークシート
12	7月14日	講義・演習	Google AdSense(中級)	ワークシート
13	8月25日	講義・演習	実技テスト：チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート

科目名	マーケティング基礎(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	濃いファンをつけるためのエンゲージメントマーケティング。						
到達目標	より多くの視聴者を得るための拡大戦略を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	企画、マーケティングを学ぶメリットの振り返り(中級)	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	チャンネルコンセプト（発信内容）決定(中級)	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	戦略立案（資源量の把握、チーム構成）(中級)	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	競合分析(中級)	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	企画立案（動画、配信、コラボ）(中級)	ワークシート
6	11月11日	講義・演習	プロモーション（SNS）(中級)	ワークシート
7	11月18日	講義・演習	実技テスト：企画プレゼンテーション	オリジナル企画のプレゼン準備
8	11月25日	講義・演習	競争対応、消費者行動(中級)	ワークシート
9	12月2日	講義・演習	オムニチャネル戦略(中級)	ワークシート
10	12月9日	講義・演習	活動資金調達(中級)	ワークシート
11	12月16日	講義・演習	Google Analytics(中級)	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	Google AdSense(中級)	ワークシート
13	1月27日	講義・演習	実技テスト：チャンネルプレゼンテーション	チャンネルの成長戦略のプレゼン準備
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングを実践する	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

バーチャルエコノミスト千莉発行書籍、レポート

科目名	Music Theory (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	MusicTheory(2)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	サブスティテュート ドミナント コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月7日	講義・演習	サブスティテュート ドミナントのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	5月14日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	5月21日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダ ルインターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	5月28日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月4日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月11日	講義・演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	6月18日	講義・演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	6月25日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月2日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月9日	講義・演習	ブルースについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	7月16日	講義・演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月27日	講義・演習	ドミナント ファンクションを持たないドミナント セブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習　時間外学習			テキスト、ワークブック、Padのアプリ等を用いて予習・復習を中心とした自主学習。	

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト、ワークブック

科目名	Music Theory (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要な,ハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を、実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ディミニッシュコードとその種類・機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月15日	講義・演習	ディミニッシュコードの解決	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月22日	講義・演習	ディミニッシュコードのテンションとコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	10月29日	講義・演習	ディミニッシュコードとドミナントセブンスコードの関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月5日	講義・演習	転調の意味と種類	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月12日	講義・演習	転調の方法	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	11月19日	講義・演習	ヴォイスリーディングとガイドトーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	11月26日	講義・演習	ペダルポイント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月3日	講義・演習	オスティナートについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月10日	講義・演習	コンパウンドコードとその構造・使い方	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	12月17日	講義・演習	コンスタントストラクチャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月14日	講義・演習	モーダルハーモニーの紹介	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月21日	講義・演習	モーダルハーモニーとコーダルハーモニー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習　時間外学習			テキスト、ワークブック、Padのアプリ等を用いて予習・復習を中心とした自主学習。	

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト、ワークブック

科目名	Ear Training（3）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り(CMajor)、2声メロディー、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	5月7日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	5月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	5月21日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)　メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー)　P4,P5,トライトーンのハーモニー練習　コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	5月28日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)　メロディー書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	6月4日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)　メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	6月11日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月18日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り、Ⅳ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	6月25日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー)　6度音程のハーモニー練習　コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	7月2日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月9日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー)　オクターブとユニゾンのハーモニー練習　コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	7月16日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	9月10日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える
15	9月17日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える
準備学習　時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】

ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

科目名	Ear Training（4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 （2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。 本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(GMajor、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月5日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月12日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り　メロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月19日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	11月26日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コード　Ⅰ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コード　Ⅰ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)　メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コード　Ⅰ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	12月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コード　Ⅰ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)　コード　Ⅰ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	2月4日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習　時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】

ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

科目名	グローバルコミュニケーション(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5

科目名	グローバルコミュニケーション(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5

科目名	Immersive audio semi(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	イマーシブオーディオの技術、録音、編集、ミキシング、音響設計、VR/AR応用、ゲーム音響、映画音響などを学び、実践的なスキルを習得						
到達目標	イマーシブオーディオの技術と応用を深く理解し、実践的なスキルを習得すること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	イントロダクションと歴史	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
2	4月25日	講義・演習	ステレオとサラウンドサウンドの違い	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
3	5月9日	講義・演習	Dolby Atmos、DTS:X、Auro-3Dの紹介	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
4	5月16日	講義・演習	イマーシブオーディオの録音方法	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
5	5月23日	講義・演習	イマーシブオーディオの編集ソフトウェア	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
6	5月30日	講義・演習	音響設計の基本概念	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
7	6月6日	講義・演習	実際の録音プロジェクトの開始	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
8	6月13日	講義・演習	録音した音源の編集	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
9	6月20日	講義・演習	編集した音源のミキシング	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
10	7月4日	講義・演習	音響効果の種類と使用方法	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
11	7月11日	講義・演習	バイノーラル録音の技術と応用	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
12	7月18日	講義・演習	VRとARにおけるイマーシブオーディオの役割	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
13	8月22日	講義・演習	ゲームにおけるイマーシブオーディオの設計	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
14	8月29日	講義・演習	イベントを通してイマーシブオーディオの技術を習得する	イマーシブコンテンツの作品制作
15	9月12日	講義・演習	イベントを通してイマーシブオーディオの技術を習得する	イマーシブコンテンツの作品制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Immersive audio semi(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	イマーシブオーディオの技術、録音、編集、ミキシング、音響設計、VR/AR応用、ゲーム音響、映画音響などを学び、実践的なスキルを習得						
到達目標	イマーシブオーディオの技術と応用を深く理解し、実践的なスキルを習得すること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	映画におけるイマーシブオーディオの設計	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
2	10月10日	講義・演習	音楽におけるイマーシブオーディオの応用	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
3	10月17日	講義・演習	ライブイベントにおけるイマーシブオーディオの設計	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
4	10月31日	講義・演習	ポストプロダクションにおけるイマーシブオーディオの役割	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
5	11月7日	講義・演習	音響が人間の心理に与える影響	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
6	11月14日	講義・演習	音響シミュレーションの技術と応用	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
7	11月21日	講義・演習	音響測定の方法とツール	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
8	11月28日	講義・演習	イマーシブオーディオの未来の展望	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
9	12月5日	講義・演習	グループディスカッション	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
10	12月12日	講義・演習	各技術の特徴と利点	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
11	12月19日	講義・演習	マイクの配置と選択：応用	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
12	1月16日	講義・演習	ミキシングの応用技術	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
13	1月23日	講義・演習	効果音の作成と適用	イマーシブ作品を聴き、音の配置や効果を分析
14	1月30日	講義・演習	イベントを通してイマーシブオーディオの技術を習得する	イマーシブコンテンツの作品制作
15	2月13日	講義・演習	イベントを通してイマーシブオーディオの技術を習得する	イマーシブコンテンツの作品制作
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	メタバースウォーキング (5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びをを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、 創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	導入ガイダンス・自己紹介	とりあえずVRChatのアカウント作っておく （次週までに自分で行ってみてもOK）
2	4月25日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
3	5月9日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	5月16日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	5月23日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
6	5月30日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
7	6月6日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	6月13日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
9	6月20日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
10	7月4日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
11	7月11日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
12	7月18日	講義・演習	「Vket2024 Summer」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
13	8月22日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
14	8月29日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	9月12日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	メタバースウォーキング (6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	専門学校卒後、音楽・エンタテインメントの制作及び教育関連の現場で30年活動						
授業の学習内容	毎週、クエスト3で様々な体験をしていく授業(最後30分座学) バーチャルコースの生徒は全員で同じ空間に入り、交流、体験する。						
到達目標	メタバースに関する学びをを通じて社会性、コミュニケーションスキルを育み、 創作活動、情報発信できる人材を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	VRChat 現地演習	授業で学んだことの復習
2	10月10日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
3	10月17日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
4	10月31日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
5	11月7日	講義・演習	実際の活動者さんとお話ししてみよう	交流実践
6	11月14日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
7	11月21日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
8	11月28日	講義・演習	VRChat 解説・練習	授業で学んだことの復習
9	12月5日	講義・演習	過去のVketを見てみよう①	授業で学んだことの復習
10	12月12日	講義・演習	「Vket2024 Winter」先行見学 ※クエスト会場	実践も兼ねて開催されているイベントを見学
11	12月19日	講義・演習	過去のVketを見てみよう②	授業で学んだことの復習
12	1月16日	講義・演習	過去のVketを見てみよう③	授業で学んだことの復習
13	1月23日	講義・演習	過去のVketを見てみよう④	授業で学んだことの復習
14	1月30日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
15	2月13日	講義・演習	演習～バーチャルマーケット	イベント内で学んだことをレポートする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イラスト(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	CLIP STUDIOの基本操作、キャラクターを創り出すための基礎技術						
到達目標	CLIP STUDIOの基本操作やツール、レイヤーの使い方を学び、線画の技術を向上させる。色彩の基本を理解し、影とハイライトで立体感を出す技術を習得。ブラシのカスタマイズやテクスチャの追加で質感を向上させ、背景の描き方やパースの基本を学ぶ。キャラクターデザインの基本を習得し、表情やポーズ、服の描き方を学ぶことで、魅力的なキャラクターを創り出すスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ソフトウェアの基本操作とインターフェースの紹介	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
2	5月13日	講義・演習	基本ツールの使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
3	5月20日	講義・演習	レイヤーの基本と使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
4	5月27日	講義・演習	クリーンな線画を描くテクニック	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
5	6月3日	講義・演習	カラーホイールと色の選び方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
6	6月10日	講義・演習	ベースカラーの塗り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
7	6月17日	講義・演習	立体感を出すための影とハイライトの入れ方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
8	6月24日	講義・演習	自分好みのブラシを作る方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
9	7月1日	講義・演習	イラストにテクスチャを加える方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
10	7月8日	講義・演習	シンプルな背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
11	7月15日	講義・演習	パースを使った背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
12	7月22日	講義・演習	キャラクターの基本デザイン	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
13	8月26日	講義・演習	様々な表情の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
14	9月9日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
15	9月16日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
準備学習　時間外学習			授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イラスト(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	CLIP STUDIOの応用操作、アニメーション技術の習得						
到達目標	髪やアクセサリー、動物の描き方を学び、背景の詳細や光と影の応用技術を習得する。色調補正や特殊効果、複雑なテクスチャの使い方を学び、イラストの仕上げ技術を向上させる。簡単なアニメーションの作り方から複雑なアニメーションの技術を習得し、プロジェクトの管理方法を学ぶ。ポートフォリオの作成やフィードバックを受けて修正する技術を身につけ、最終発表で完成した作品を披露する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	動きのあるポーズの描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
2	10月21日	講義・演習	服のシワや質感の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
3	10月28日	講義・演習	髪の流れと質感の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
4	11月4日	講義・演習	小物やアクセサリーの描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
5	11月11日	講義・演習	基本的な動物の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
6	11月18日	講義・演習	複雑な背景の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
7	11月25日	講義・演習	光源を意識した影の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
8	12月2日	講義・演習	イラスト全体の色調を調整する方法	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
9	12月9日	講義・演習	光や煙などの特殊効果の描き方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
10	12月16日	講義・演習	複雑なテクスチャの使い方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
11	1月13日	講義・演習	イラストの最終仕上げ	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
12	1月20日	講義・演習	簡単なアニメーションの作り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
13	2月3日	講義・演習	複雑なアニメーションの作り方	授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習
14	2月10日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
15	2月17日	講義・演習	イベントを通してイラスト技術を学ぶ	イベントに向けた制作を実践する
準備学習　時間外学習			授業外でのCLIP STUDIO操作と次週の予習	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(5) Ba Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を 目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが 生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
2	4月21日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
3	5月12日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
4	5月19日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
5	5月26日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
6	6月2日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
7	6月9日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
8	6月16日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
9	6月23日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
10	6月30日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
11	7月7日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
12	7月14日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
13	8月25日	講義・演習	年間のまとめ、試験	未達成箇所の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器応用(6) Ba Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	梅村雄也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を 目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが 生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
2	10月13日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
3	10月20日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
4	10月27日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
5	11月3日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
6	11月10日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
7	11月17日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
8	11月24日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
9	12月1日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
10	12月8日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
11	12月15日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
12	1月12日	講義・演習	質疑応答・課題表示	未達成箇所の復習
13	2月2日	講義・演習	年間のまとめ、試験	未達成箇所の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
準備学習　時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	著作権(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。 音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。 配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	4月25日	講義・演習	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC	教科書予習／配布授業資料復習
3	5月9日	講義・演習	著作権の基礎（1）概要／構造	教科書予習／配布授業資料復習
4	5月16日	講義・演習	著作権の基礎（2）歴史／現在	教科書予習／配布授業資料復習
5	5月23日	講義・演習	アーティストの権利／印税とは	教科書予習／配布授業資料復習
6	5月30日	講義・演習	収入シミュレーション（CD販売）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	6月6日	講義・演習	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	6月13日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分	教科書予習／配布授業資料復習
9	6月20日	講義・演習	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	7月4日	講義・演習	ミュージックビデオ／ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習／配布授業資料復習
11	7月11日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習／配布授業資料復習
12	7月18日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）	教科書予習／配布授業資料復習
13	8月22日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）	教科書予習／配布授業資料復習
14	8月29日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察	教科書予習／配布授業資料復習
15	9月12日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）/ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	著作権(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編（1）	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	10月10日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編（2）	教科書予習／配布授業資料復習
3	10月17日	講義・演習	著作権の必須知識／使える著作権	教科書予習／配布授業資料復習
4	10月31日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（1）	教科書予習／配布授業資料復習
5	11月7日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（2）	教科書予習／配布授業資料復習
6	11月14日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	11月21日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	11月28日	講義・演習	インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情	教科書予習／配布授業資料復習
9	12月5日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（1）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	12月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約（2）	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
11	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習／配布授業資料復習
12	1月16日	講義・演習	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
13	1月23日	講義・演習	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	教科書予習／配布授業資料復習
14	1月30日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習／配布授業資料復習
15	2月13日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習　時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	

【使用教科書・教材・参考書】

よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）/ 18歳の著作権入門（福井 健策）

科目名	音楽史(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1）各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2）ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3）有名な曲の歴史的意義を知る。 4）各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ジャズ史概観　この授業で何を得るのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月26日	講義・演習	ルイ・アームストロング　ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月10日	講義・演習	ﾃﾞｭｰｸ･ｴﾘﾝﾄﾝ ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月17日	講義・演習	グレン・ミラー　ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月24日	講義・演習	チャーリー・パーカー　ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月31日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月7日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月14日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月21日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月12日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	8月23日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月30日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	9月13日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月20日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習　時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

適宜、講師が用意。

科目名	音楽史(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1）各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2）音楽との関係性を知ること。 3）有名な曲の歴史的意義を知る。 4）各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月11日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月18日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	11月1日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月8日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月15日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月22日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月29日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月6日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月13日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月20日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月17日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月24日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月31日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月14日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習　時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

適宜、講師が用意。

科目名	就職対策講座(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	レポート
2	5月8日	講義・演習	キャリアをデザインしよう／スティーブジョブスの偶然をキャ	レポート
3	5月15日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	レポート
4	5月22日	講義・演習	自分らしさ／自信をみにつける事ができる	レポート
5	5月29日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	レポート
6	6月5日	講義・演習	コミュニケーション例／説明力を学ぶ	レポート
7	6月12日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月19日	講義・演習	身だしなみについて知る	レポート
9	6月26日	講義・演習	働きがいとは／次回の課題を考える事ができる	レポート
10	7月3日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	レポート
11	7月10日	講義・演習	PDCAサークル／仕事の心身を理解する	レポート
12	7月17日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち／収入について理解する	レポート
13	8月28日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	レポート
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	就職対策講座(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	自己分析　自らの得意、強みを知る	レポート
2	10月15日	講義・演習	自分の発信と相手側の受けロり方について	レポート
3	10月22日	講義・演習	グループワークの進め方	レポート
4	10月29日	講義・演習	臨機応変の対応力について	レポート
5	11月5日	講義・演習	社会人失敗例について知る	レポート
6	11月12日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	レポート
7	11月19日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月26日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	レポート
9	12月3日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	レポート
10	12月10日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	レポート
11	12月17日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	レポート
12	1月12日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	レポート
13	1月21日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	グローバルコミュニケーション(5)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5

科目名	グローバルコミュニケーション(6)	必修選択	選択	年次	3	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120（8単位）		
教員の略歴							
授業の学習内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE 1～5